

会津学鳳中・高実験講座

(2024年7月30日開催)

レモンの皮で油性ペンの文字を消す実験に取り組む児童



小学生が実験、科学の魅力体感

小学生を対象とした科学実験講座は7月30日、会津若松市の会津学鳳中・高で開かれ、児童が科学の魅力に触れた。

文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の指定を受けている同校が児童に科学への興味と関心を持つてもらおうと、毎年開催している。会津地方の小学5、6年生約120人が物

理、化学、生物、地学、情報の5講座にそれぞれ参加した。

このうち化学では「レモンの不思議実験！」と題し、レモンの皮に含まれる成分「リモネン」に関する実験に取り組んだ。レモンの皮で油性ペンの文字を消したり、風船を割ったりなどした。児童は驚いた表情を見せながら各実験に挑戦していた。

会津学鳳中・高で講座

ニンジンロケット打ち上げ

会津学鳳中・高は7月30日、会津若松市の同校で、小学生を対象にした科学実験講座を開いた。子どもたちが実験を通じて科学の魅力に触れた。



先進的な理数系教育を進める「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」事業の一環。物理、化学、生物、地学、情報の5科目で開講し、小学5、6年生計約140人が参加した。同校の中学生が実験のサポートを行った。生物では、ニンジンに含まれる酵素の働きを利用したロケット作りに挑戦した—写真。ロケットに見立てたフィルムケースのふたが勢いよく飛ぶと、子どもたちは歓声を上げながら興味深く仕組みを学んでいた。